



希望

《学校教育目標》 自らを磨き 未来を拓く生徒

3つの生徒像：学力を身につける生徒 ・ 心を磨く生徒 ・ 体を鍛える生徒

鯨井中学校だより 第18号

令和 5年 1月10日

1年101名 2年 84名

3年 72名 全校257名

◇新年明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様には、昨年中は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策をはじめ本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で、生徒達は勉強に、行事に、生徒会活動に、部活動にと何事にも一生懸命に取り組み、学力面だけでなく心身共に大きく成長できたと思えます。

本年も未来を担う鯨井中学校の生徒達のために学校教育目標である「自らを磨き 未来を拓く生徒」を目指して、学校と保護者・地域の皆様とが連携、協力し合って教育活動を進めて行きたいと考えております。

本年も昨年に引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



元日の初日の出と日の出直後の鯨井中学校舎&富士山（撮影：鯨井中学校4階等にて）

◇色々なことに失敗を恐れずチャレンジしてみてください！！

令和5年を迎え、自分の今年や将来に向けての目標やその達成に向けての計画を立てたり、具体的な取組を考えたりしていると思います。その時に、若い皆さんに参考にしてもらいたいことを書きます。それは、「失敗は成功のもと」という諺を知っておいてほしいのです。私は、この諺を2つの意味（皆さんへの願い）として考えています。1つ目は、成功（目標達成）のためには、一度や二度の失敗でくじけないでほしいということです。2つ目は、失敗することによって、何が悪かったのかその原因を考え、改善・工夫する力をつけて、少しずつ成功に近づいてほしいということです。

信号機やイルミネーションなどに使用されている青色発光ダイオード（発光ダイオードは中学2年生で学習します）を知っていますか。この青色発光ダイオードの発明によって、日本人の科学者3人が2014年にノーベル賞を受賞しました。赤や黄色、緑の発光ダイオードはすでにありましたが、世界の科学者がずっと研究していたにもかかわらず青色のものができませんでした。しかし、日本の3人の科学者は、何年もそして何回も何回も失敗に次ぎ失敗を重ねながら、発明しました。この青色発光ダイオードが発明されたことにより、光の三原色と言われる赤、緑、青の3つの光でどんな色でもつくりだせるようになったのです。また、発光ダイオードは、電気をたくさん必要としないので、私達の生活がより便利になったのです。

皆さんには、何物にもかえられない若さがあります。これからの人生の中で、うまくいかないことがあって失敗してもくじけずあきらめないで挑戦することを忘れないでほしいと思っています。また、失敗することでどうしてうまくいかなかったのか考え、新しい方法を生み出す力をつけることができるかもしれません。成功（目標達成）のためには、失敗することも必要だというポジティブな気持ちを大切にしてください。

◇「こども環境宣言2022」達成に向けての取組をお願いします。

11月15日（火）に鯨井中学校が川越市内の中学校の2校の代表として環境宣言を行いました。そして、川越市内の学校を中心とした取組として、「川越こども環境宣言2022」が同時に示されました。

鯨井中学校の環境宣言である「資源と笑顔を守り、SDGsを推進します。～鯨井エコレンジャー～」と共に、生徒会が中心となって一人一人の取組の継続、推進をお願いします。

川越こども環境宣言2022

ふるさと川越の未来を切り開く中心の存在としての自覚のもとに、次の通り宣言します。

- 一、省エネ・省資源の取組で環境負荷を軽減します。
- 一、食品ロスの削減に取り組みます。
- 一、ごみの選別を徹底し、リサイクルに努め、ごみの減量を図ります。
- 一、環境活動に積極的に参加します。

令和4年11月15日

川越市教育委員会
教育長 新保 正徳



◇各部の目標を達成するために、1日1日の取組を大切にしてください。(敬称略)

※各部の部長さんに、学校総合体育大会や各種のコンクール・作品展等に向けての目標や抱負を書いてもらいました。個人(一人一人)そしてチーム(部)として、目標達成をめざしてください。習い事やクラブチームなどに入っている人達も自分の目標をしっかりとってがんばってください。

- ・吹奏楽部……吹奏楽部の目標は、学校生活をしっかり行うこと、体調管理に気をつけていくことです。これからあるコンクール等で県大会に出場するためにも日々の生活から改善していくことで演奏技術も向上していくと確信しています。
- ・バレー部……バレー部では、県大会ベスト16を目標に日々練習を行っています。新人戦ではよい結果を残すことができず悔しい思いをしました。そのため、学総に向けて、試合の動きを意識した質のよい練習を目指し、個人としてチームとしての強さをつきつめていきたいです。
- ・野球部……野球部では、県大会出場を目標に日々練習しています。昨年の県大会では一回戦敗退と悔しい思いをしたので残りの6ヶ月間は、県大会での反省を活かしていきたいです。そのために、一つ一つの練習を大切にしていき、休憩と練習のけじめをつけて練習の効率を上げていきます。
- ・卓球部……2023年の卓球部の目標は、個々の身体のケアをおこたらず、ケガをせずに卓球に集中できる環境を作ることです。そのためには、一人一人が凡事徹底を心がけ、切磋琢磨していくことが大切です。一人一人が協調性を持ち、学総に臨みたいと思います。
- ・バスケット部……バスケット部は、県大会出場という目標を達成することができるように、日々全力で練習しています。2年生は、次が最後の大会になるので、この2年間一生懸命練習してきた成果を出し切り、満足できる大会にしたいです。残りわずかな時間を、全員本気で練習していきます。
- ・ソフトテニス部……ソフトテニス部は、学総に向けて安定したプレーができるように基礎を中心とした練習をしていきたいです。技術向上だけでなく、試合への姿勢・声かけなども心がけて悔いなき試合を自分たちで作れるように、ペアで協力して頑張ります。
- ・美術部……美術部の新年の目標は、年末に取り組んだコンクールの作品の反省を生かし、新入生オリエンテーションでの発表に向けて作品の精度を向上させる事です。来年度の新入生を驚かせるような作品を各々が創りあげられるように創作環境を整えて創作活動に励みたいです。



◇毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストで「優良賞」を受賞しました。

※毎日カップ「優良賞」のカップと賞状は、職員室前廊下に掲示します。

このコンテストは、毎年実施されている新体力テストの記録を基に「体力づくり」の実践を通して「たくましく生きる力」の育成に成果を上げている中学校を表彰するものです。昨年度は「努力賞」でしたが、今年度はエントリー校約4,200校の中学校の中から「優良賞(28校)」を受賞しました。

これからも一人一人が、体育の授業や体育的行事、部活動などに励んで体力の向上に努めてください。また、体育委員会を中心にこれからも「体力づくり」への取組を続けたり、新しい企画を考えたりしてください。



前後期体育委員長に代表して受け取ってもらいました。

※令和5年度埼玉県教科用図書選定審議会委員

の公募について

埼玉県教育委員会より上記委員の公募について募集案内が学校に届いております。募集人員1名で、募集期間が令和5年1月4日(水)から令和5年2月3日(金)までに関係書類必着となっております。詳しい応募方法等については、学校に募集案内がありますのでお問い合わせください。

3学期は、3年生の入試(主に1月に国立・私立高校、2月に県公立高校)や2年生の修学旅行、新入生1日体験入学、3年生を送る会、卒業式など色々な行事があります。引き続き学校、家庭などでの新型コロナウイルス感染防止対策への油断なき取組をよろしくお願いします。